

オブジェクト倶楽部 クリスマスイベント
ライトニングトークス

「見える化」の 実践の「見える化」

2004/12/06 (Thu.)

日本Rubyの会 ||

(株)永和システムマネジメント

角谷 信太郎

s-kakutani@esm.co.jp

『Giving Lightning Talks』は、

<http://www.perl.com/pub/a/2004/07/30/lightningtalk.html>

<http://www.rubyist.net/~matz/20040802.html#p02>

『Giving Lightning Talks』の教え#1
重要な点を最初に
Make your Point

重要なこと:

御礼

御静聴ありがとうございました

- Acknowledgments

- t-wadaさん、芦沢さん、平鍋さん、天野さん、懸田さん、本間さん、牧野さん、桑折さん、猪狩さん

- 感想等フィードバックのTrackBack先はこちら↓

- <http://www.kakutani.com/tb.rb/20041206>

『Giving Lightning Talks』の教え#2
詳細は重要ではない
Most Details Don't Matter

本日の献立

1.『バーンダウンチャートの紹介
シーズン2』

2.『XFDsの導入』

伝えたいこと

1. バーンダウンチャート: やってます
「アジャイル進捗追跡マニフェスト」

2. ソフトウェアあんどん: できます
「Strutsの芦沢じゃないよ。
XFDsの芦沢だよ。」

ちなみに

ハッスルしてスライドをつ
くりすぎちゃったので、
詳細には立ち入り(れ)
ません。

フォローは懇親会と私の
ウェブロにて。
この資料もダウンロード
可能にしておきます。
この辺りから ↓

<http://www.kakutani.com/20041209.html>

花の散るように
星ぼしの流れるが如く
銅鑼の音の鳴り響くま
で話し続けてみよう
と思うのです。

それでは、いざ。

バーンダウン・チャートの紹介

シーズン2

The Burndowns:eXperienced



45

PREVIOUSLY ON BURNDOWN CHARTS

——前回までのバーンダウン・チャート

ライトニングトークス@XP祭り2004

2004/07/26

<http://www.xpjug.org/event/20040726maturi/regist>

<http://www.xpjug.org/event/20040726maturi/report>

実践しはじめたところのバーンダウン・チャートを紹介

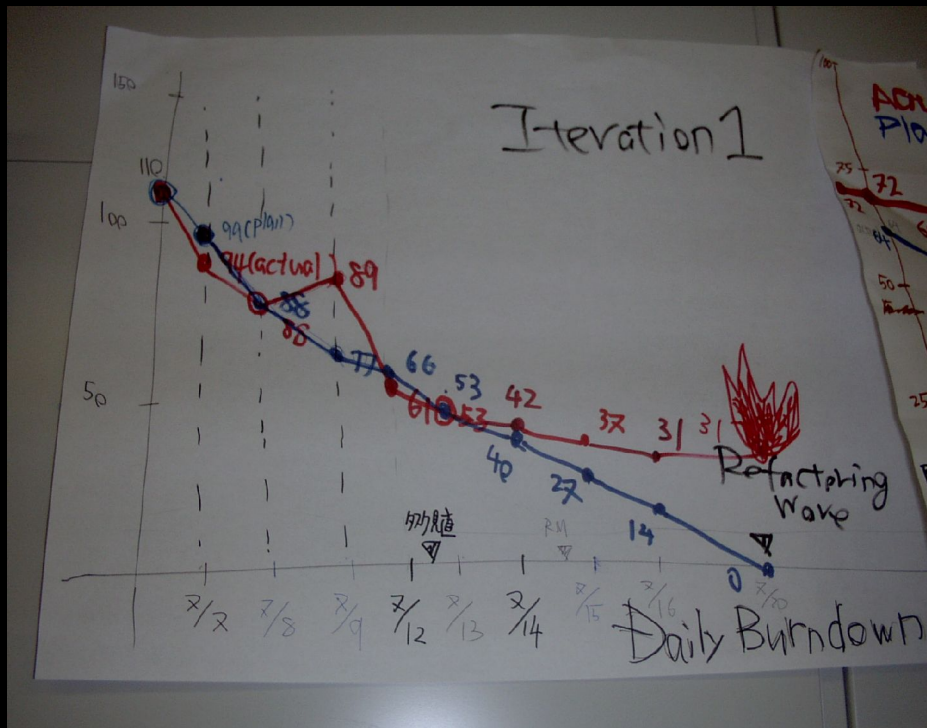
<http://www.kakutani.com/articles/XPmatsuri2004-LT.kakutani.pdf>

銅鑼を鳴らされてしまった

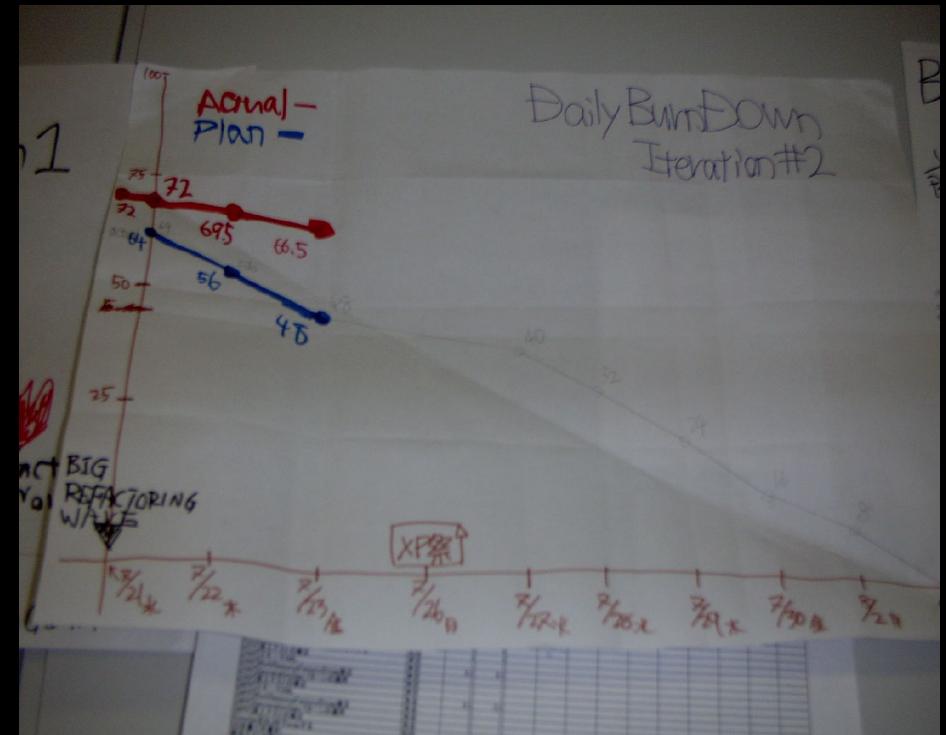
今日もまた……？



2つのイテレーションのチャートを公開



イテレーション#1

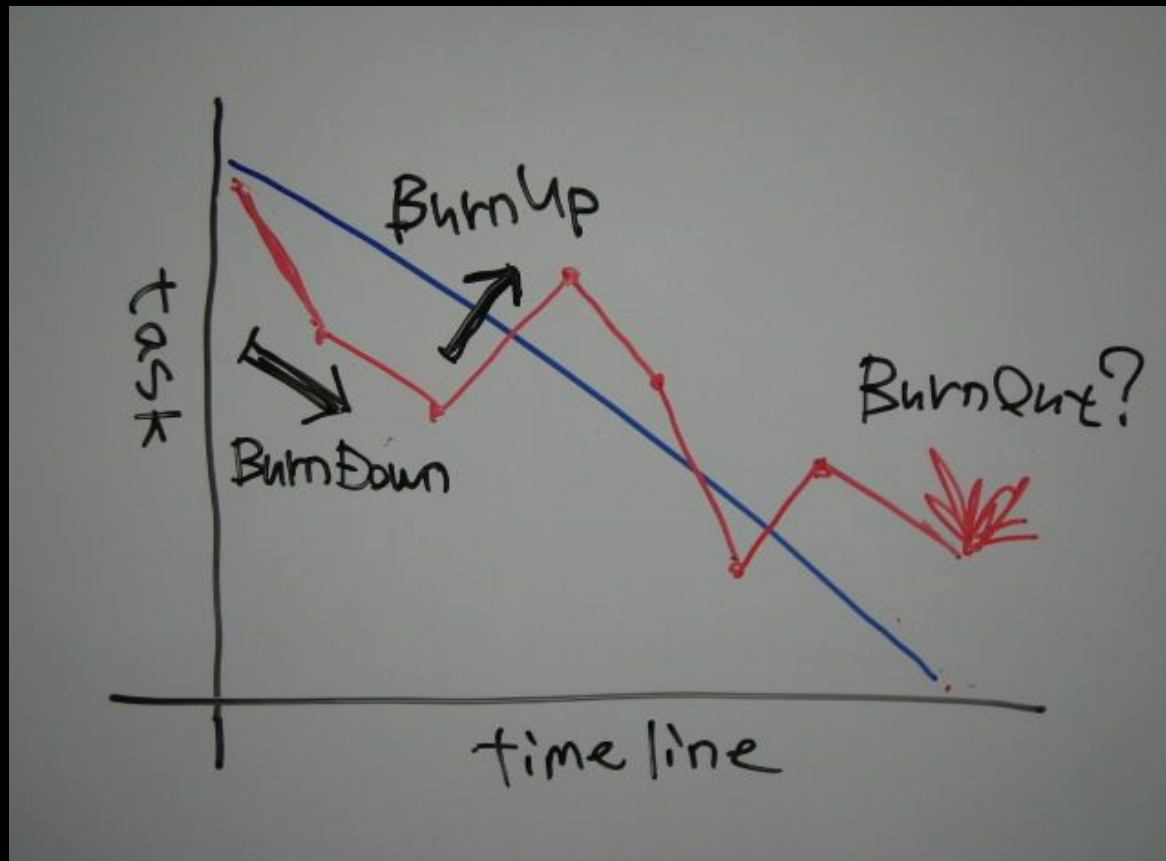


イテレーション#2
(開始後2日経過)

**THE FOLLOWING TAKES PLACE
BETWEEN 7/27 AND 12/3.**

*これは、7月27日から12月3日までの間に
起こった出来事である——*

Terminology



BurnDown

タスクの消化
(消火?!)

BurnUp

タスクの増加
(延焼?)

BurnOut

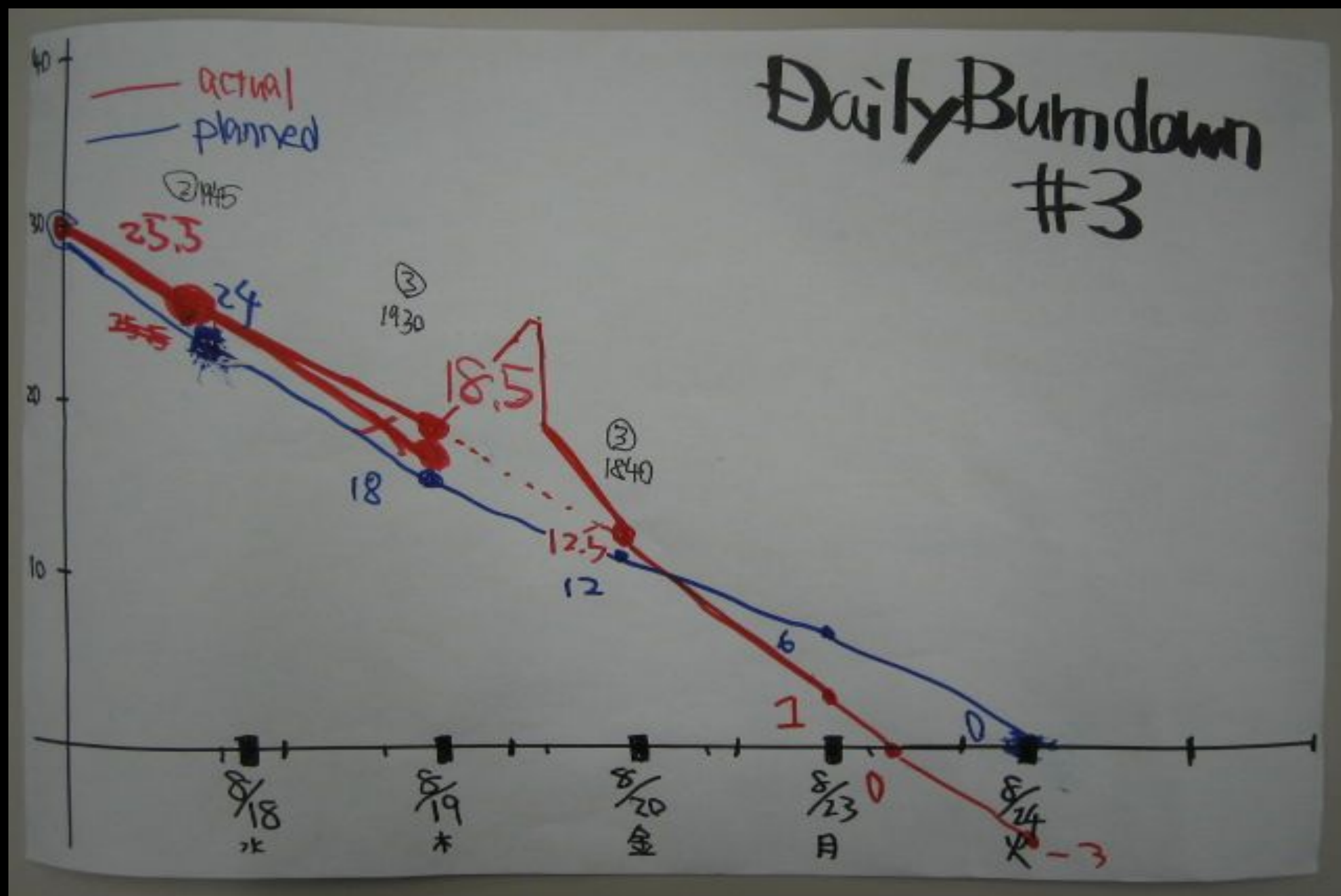
タイムボックス内で
鎮火に至らず

この用語は当プロジェクト固有の運用です。
改善について皆様の御知恵を拝借したく仕り候。

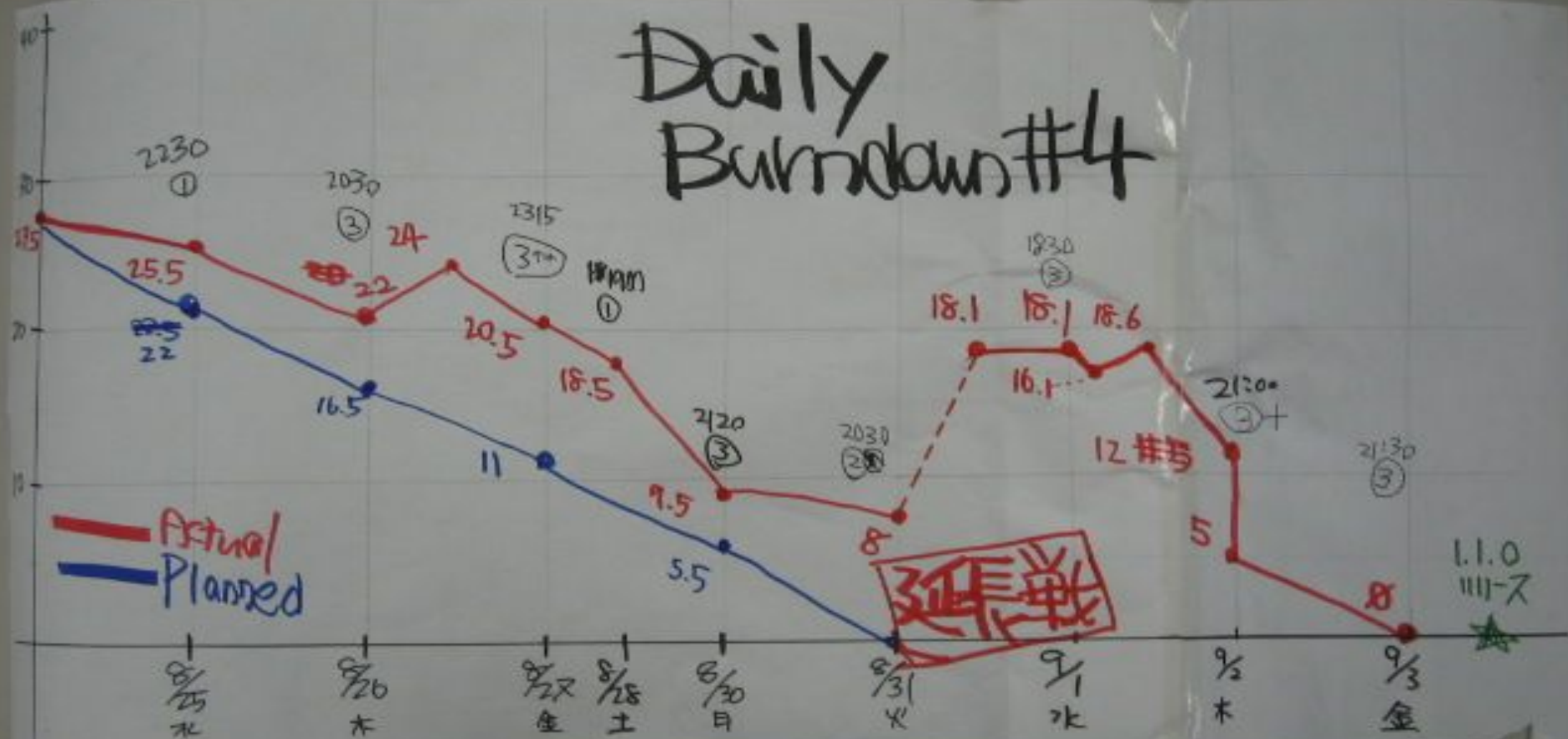
イテレーション#2(完了)



イテレーション#3



イテレーション#4



イテレーション#5



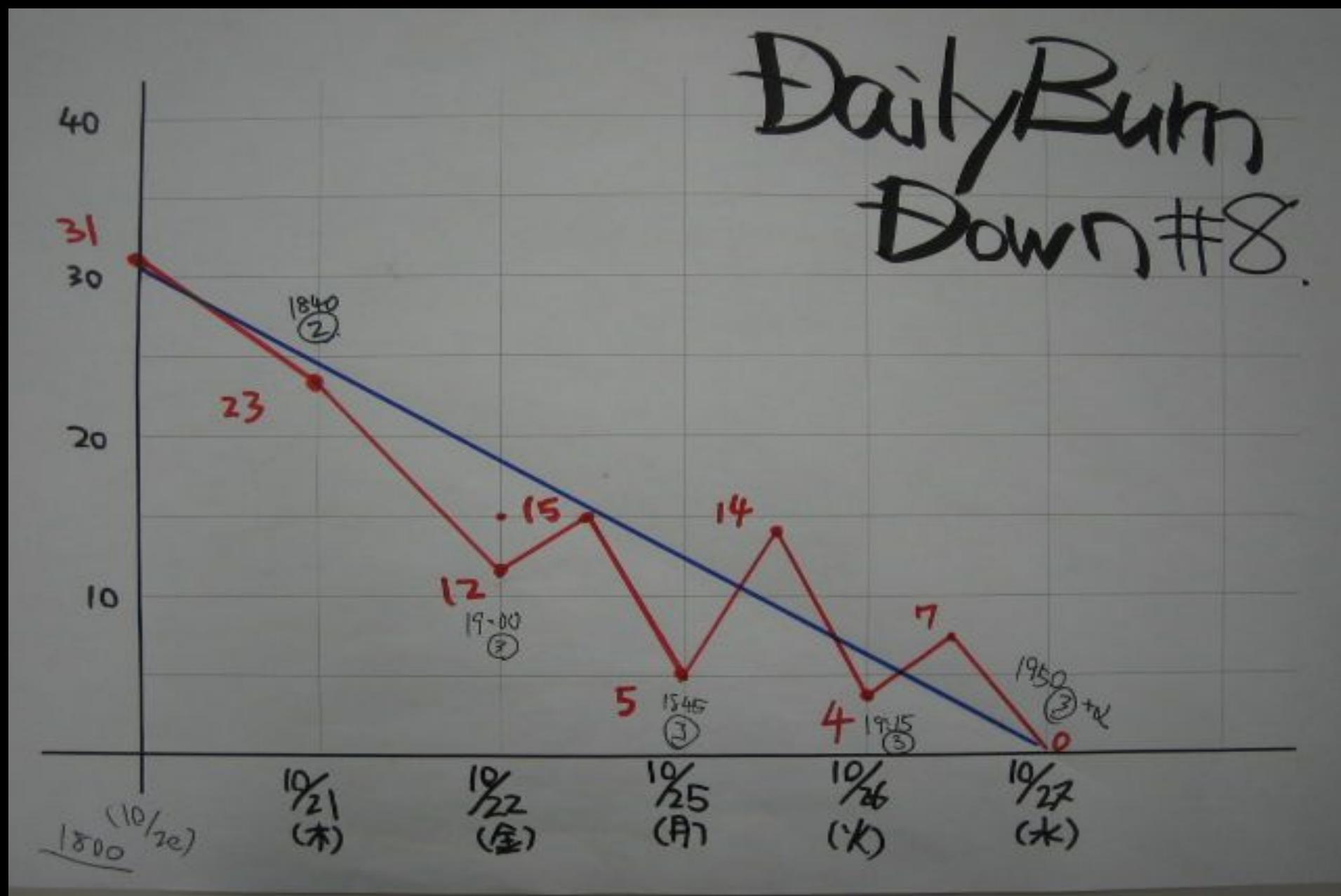
イテレーション#6



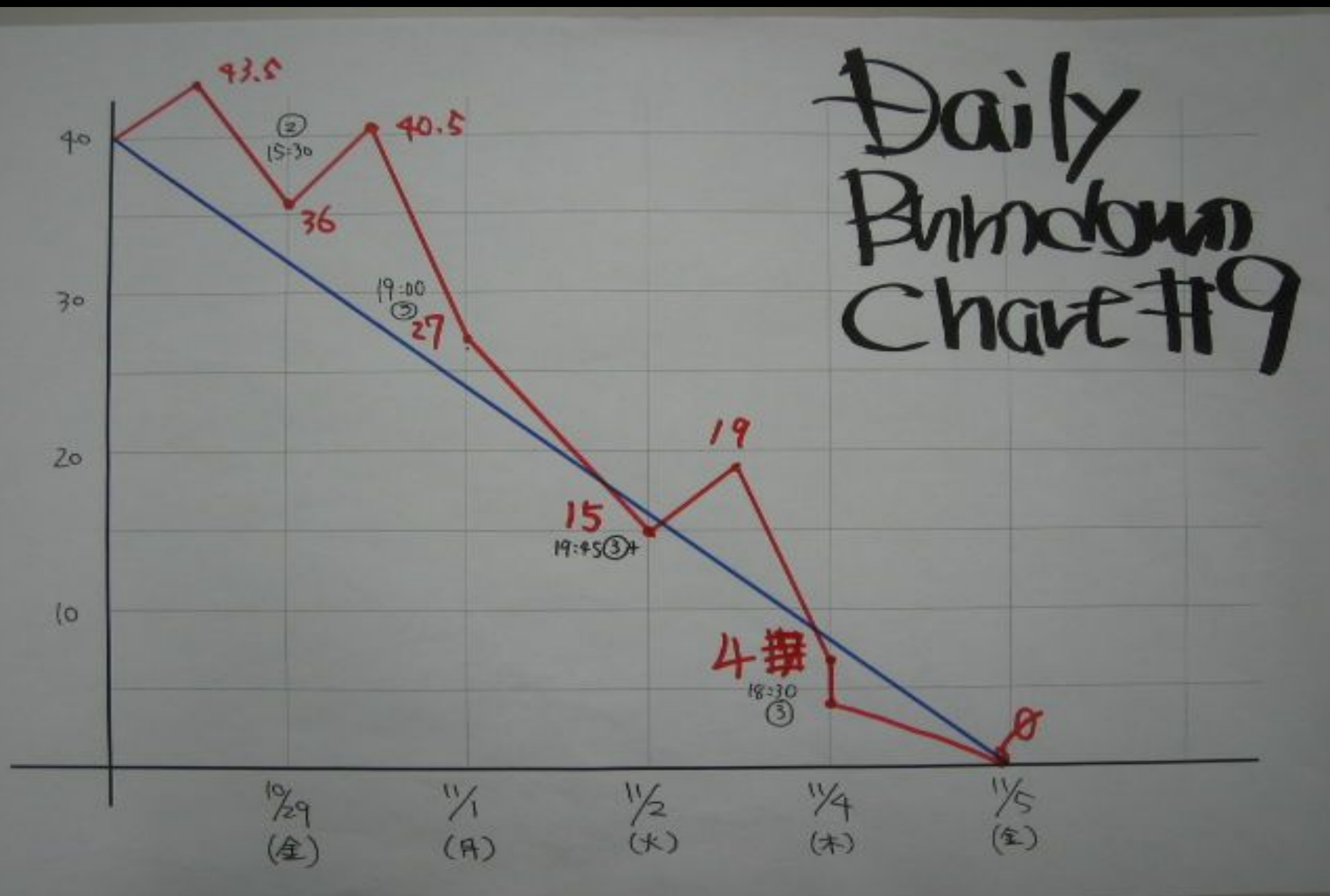
イテレーション#7



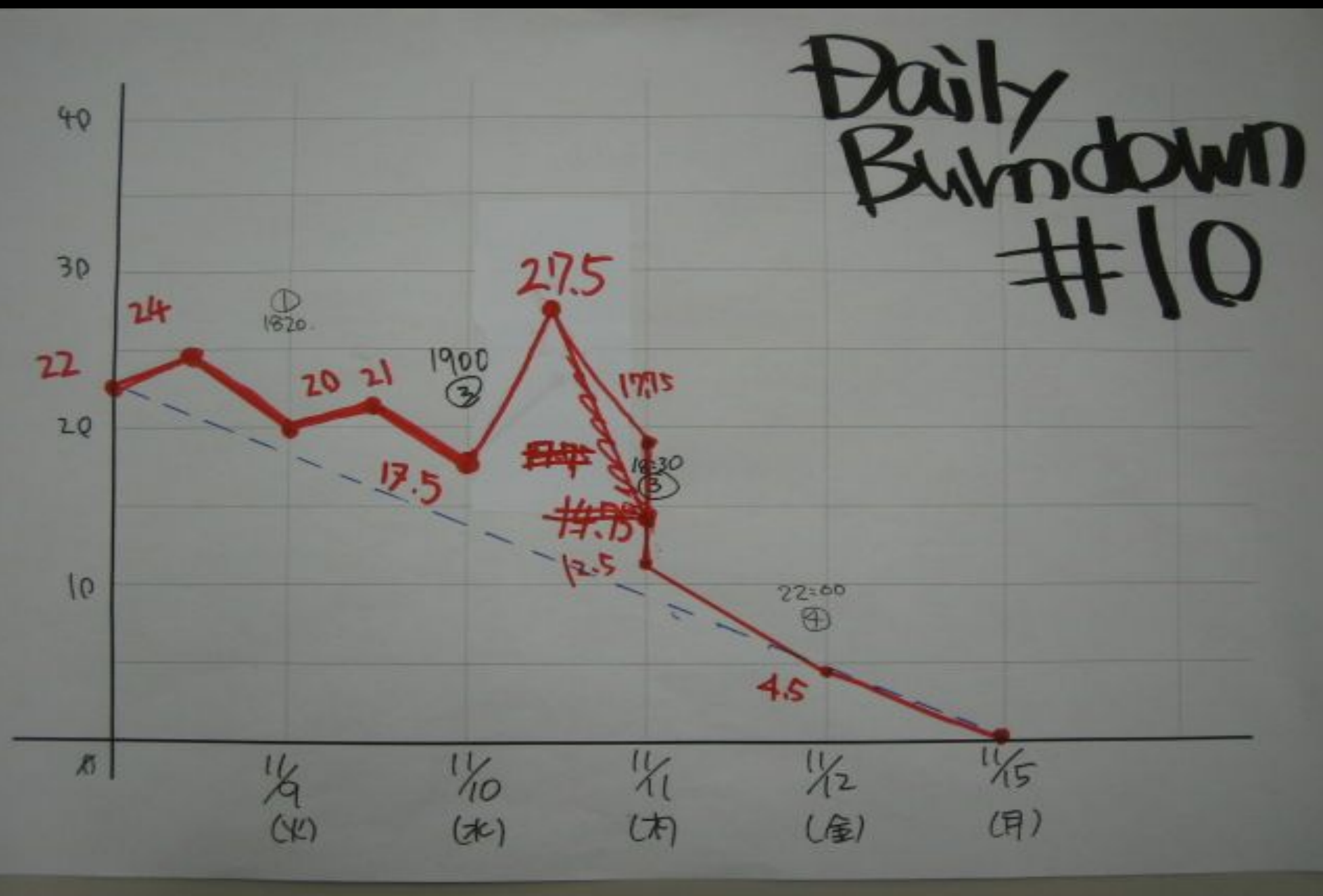
イテレーション#8



イテレーション#9

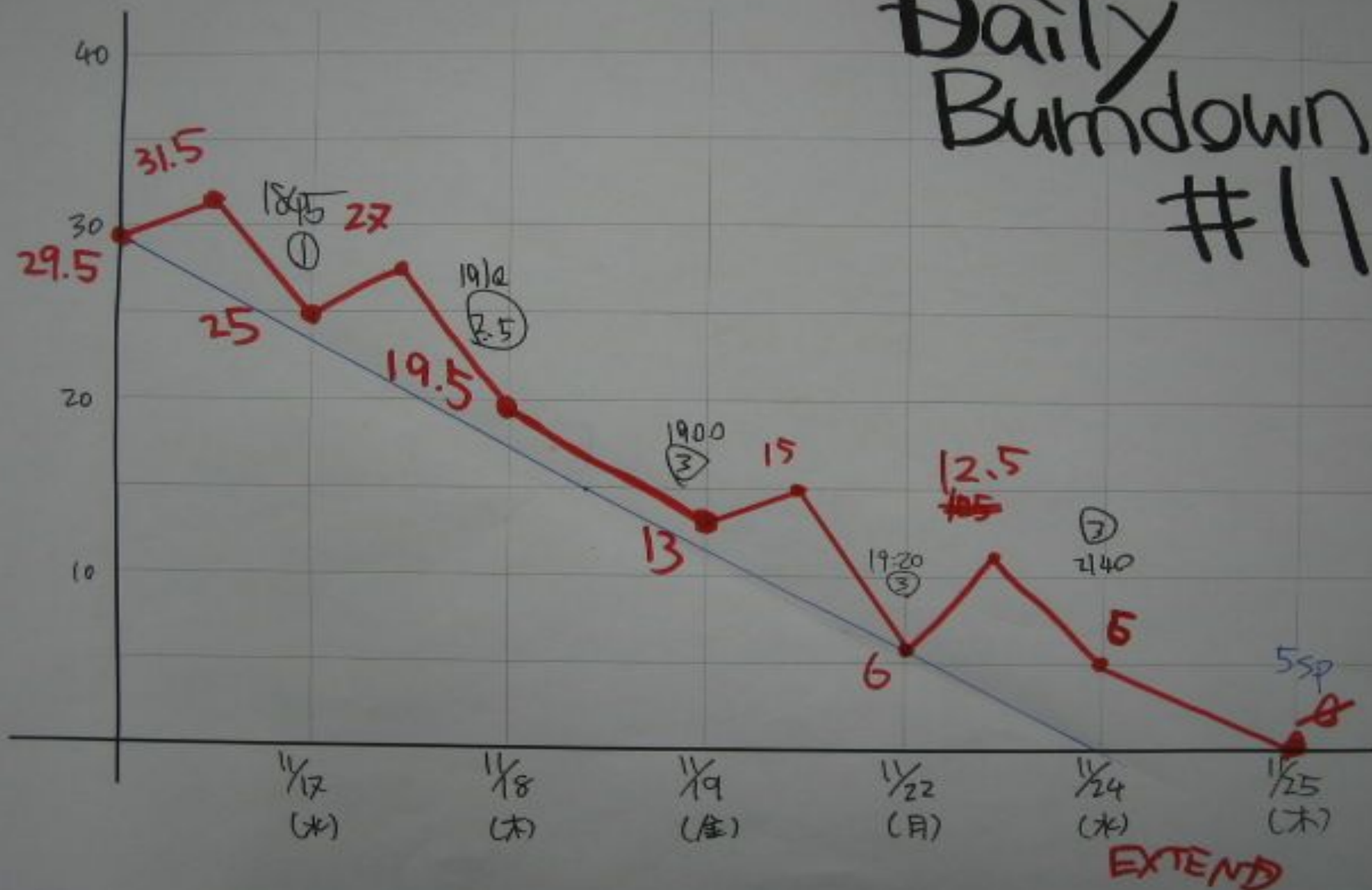


イテレーション#10



イテレーション#11

Daily
Burndown
#11



イテレーション#12



Lessons Learned(excerpts)

- イテレーション開始時にサインアップ可能ポイントをいきなり使いきらない。少し残しておく
 - イテレーション開始後に「『発見』されるタスク」への対応
 - 「我々のチームでは」チーム全体で10%～20%程度を見込んでおくとかっこいい感じ
- 「SMART」なタスク分割を肝に銘じる
 - タスクのゴールは明確か？チームで意識はあってる？
 - <http://d.hatena.ne.jp/t-wada/20040727#p4>
- プロジェクトレベルのバーンダウンは難易度が高い
 - 「我々のチームでは」ほとんど諦めてしまっている
- 他、いろいろ(今日は割愛)

アジャイル進捗追跡マニフェスト(Draft)

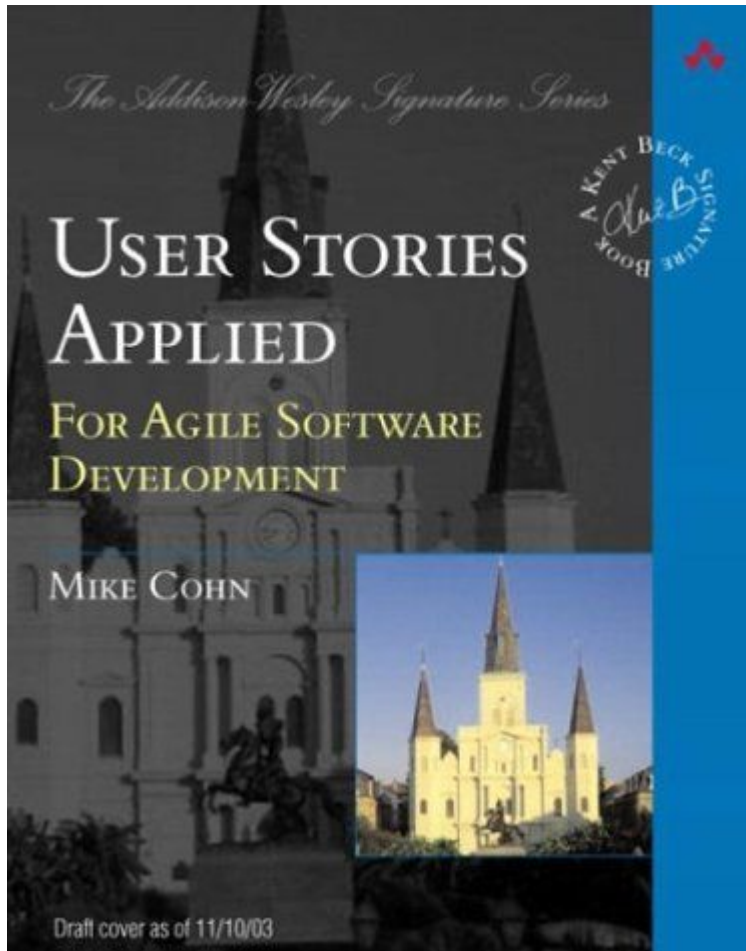
<http://www.burndownalliance.org/>

我々は自ら進捗追跡を行い、他人の進捗追跡を手助けすることで、進捗追跡のより優れた方法を模索している。
この作業によって、我々は以下のことを重視するようになった。

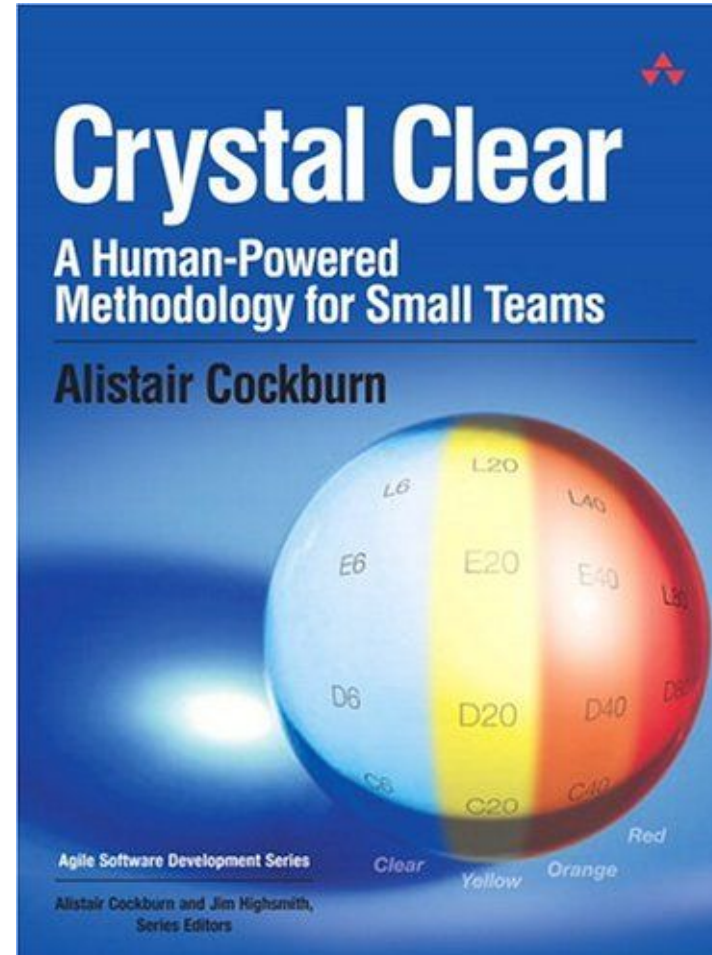
- 達成済作業量の追跡よりも、**残作業量の追跡**
- ストーリーの達成よりも、**タイムボックスの遵守**
- 厳密な精度よりも、**必要十分な精度**
- 美しいレポートツールよりも、**摸造紙と水性ペン**

つまり、左側にも価値はあるが、
右側の項目により多くの価値を見出している。

参考文献たち

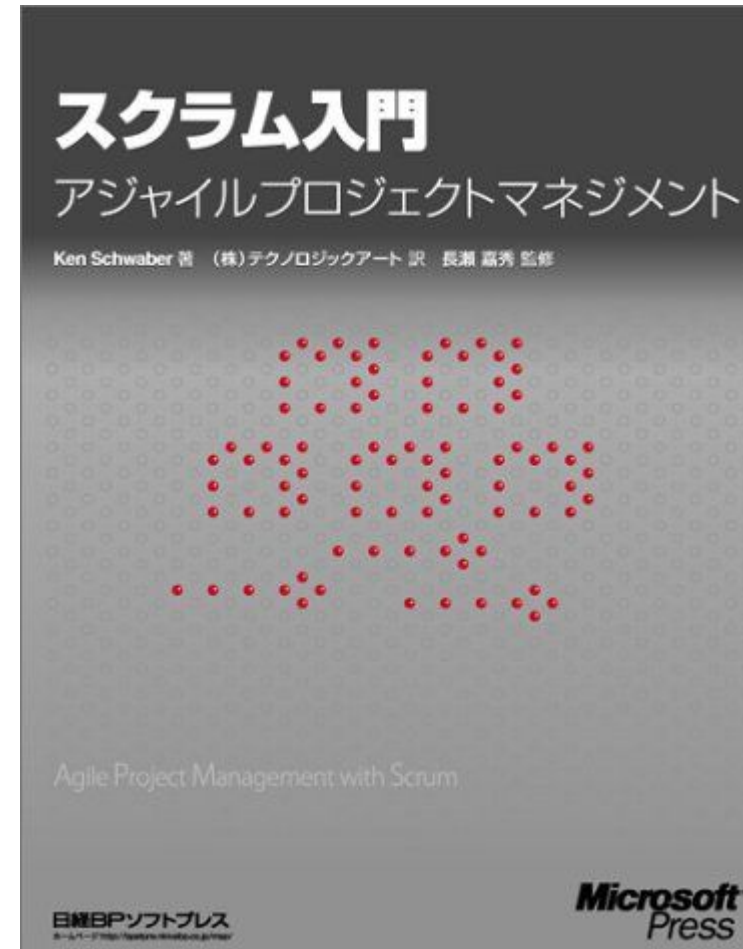


バーンダウン愛好家必携!!!



バーンダウンチャートの記述が詳しい

参考文献たち(Cont'd)



And Now for Something Completely Different.



eXtreme

XFDs:Installed

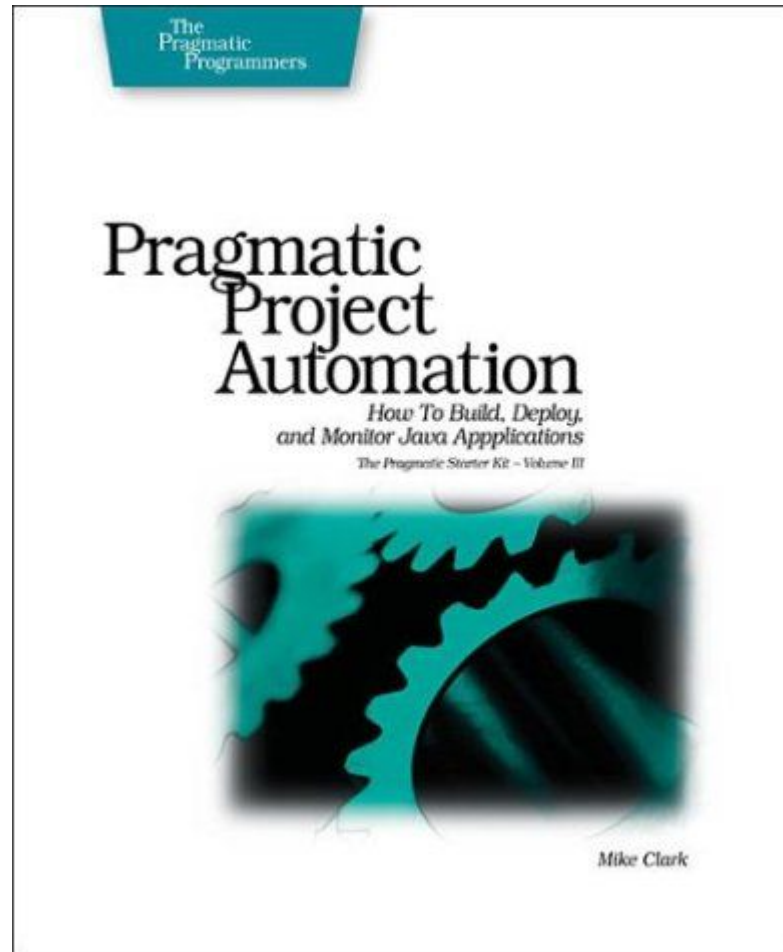
Feedback

Devices(XFDs)

の導入



元ネタ:『Pragmatic Project Automation』



<http://www.pragmaticautomation.com/cgi-bin/pragauto.cgi/Monitor/Devices/BubbleBubbleBuildsInTrouble.rdoc>

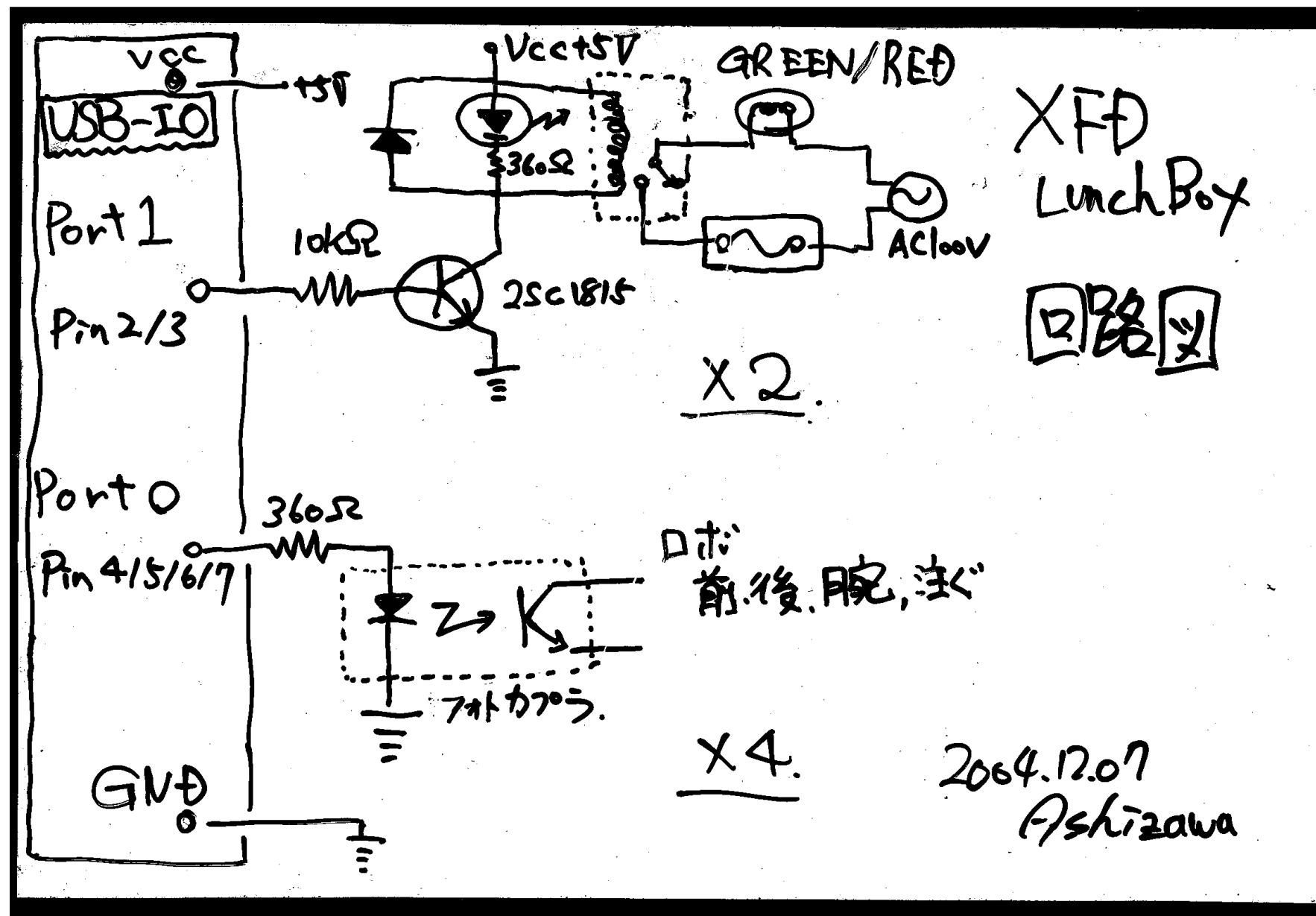
或る日。

私「XFDsが面白そうなんですけど、X10とかいう無線デバイスを使っているみたいなんです。X10って日本だと入手しづらいっぽいんですよねー」

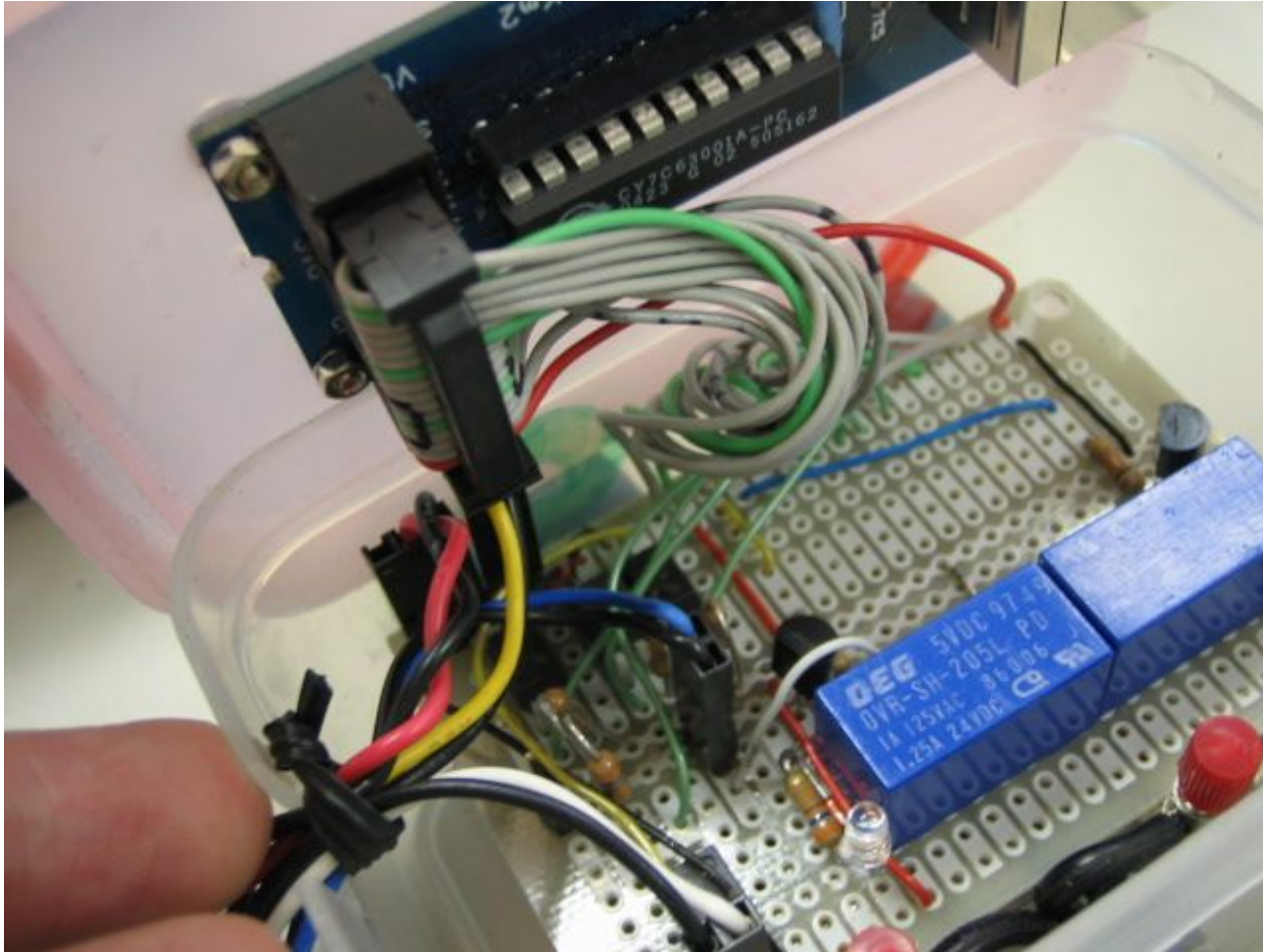
答えて曰く、

芦沢さん「有線でもよければ、
USB-IOとかでランプぐらいなら、
ちょっと電子工作すればできると思
いますよー。やりましょうか？
ってというかやります」

芦沢Box(XFD LunchBox)の設計

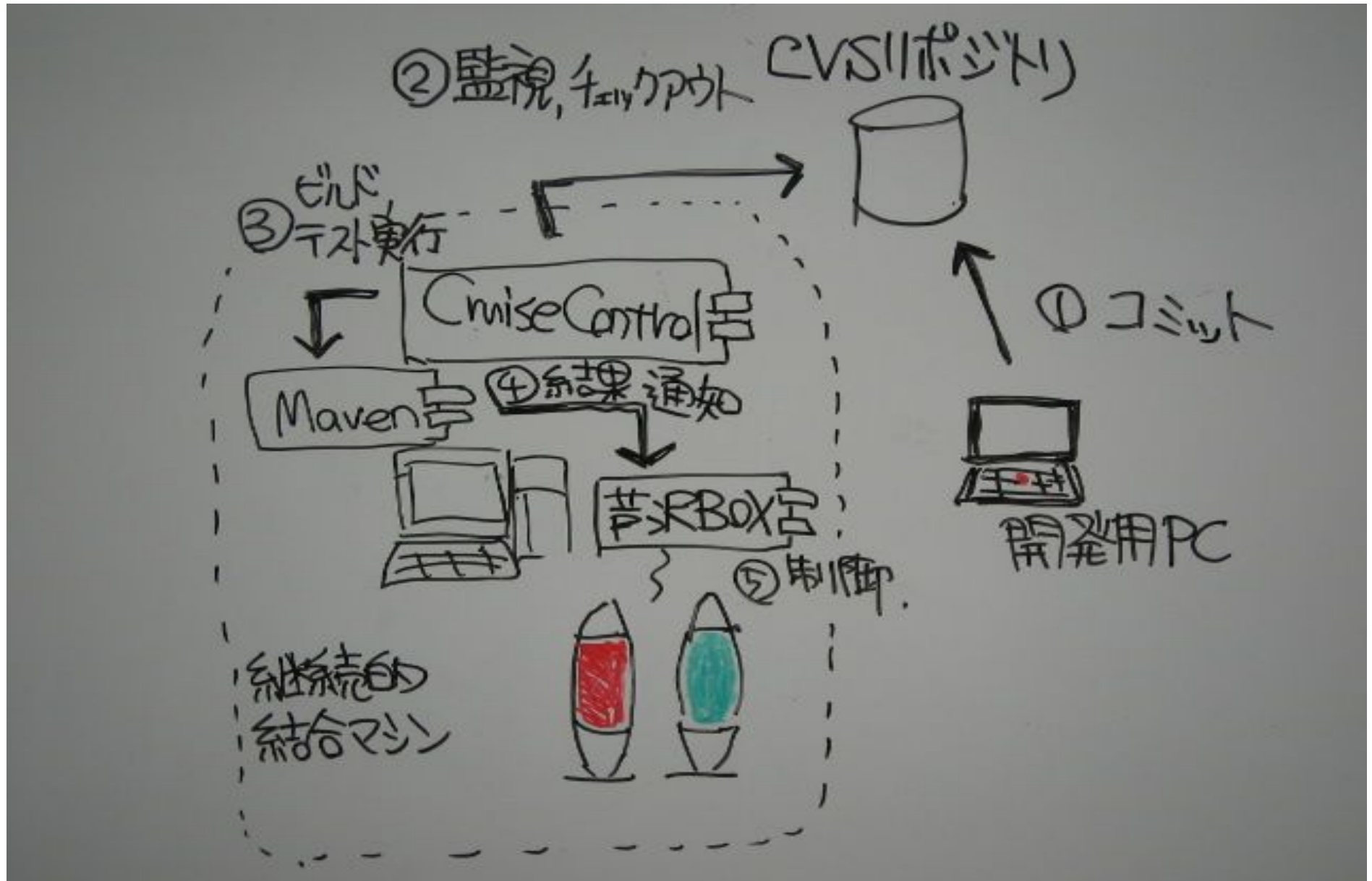


芦沢Box(XFD LunchBox)の実装

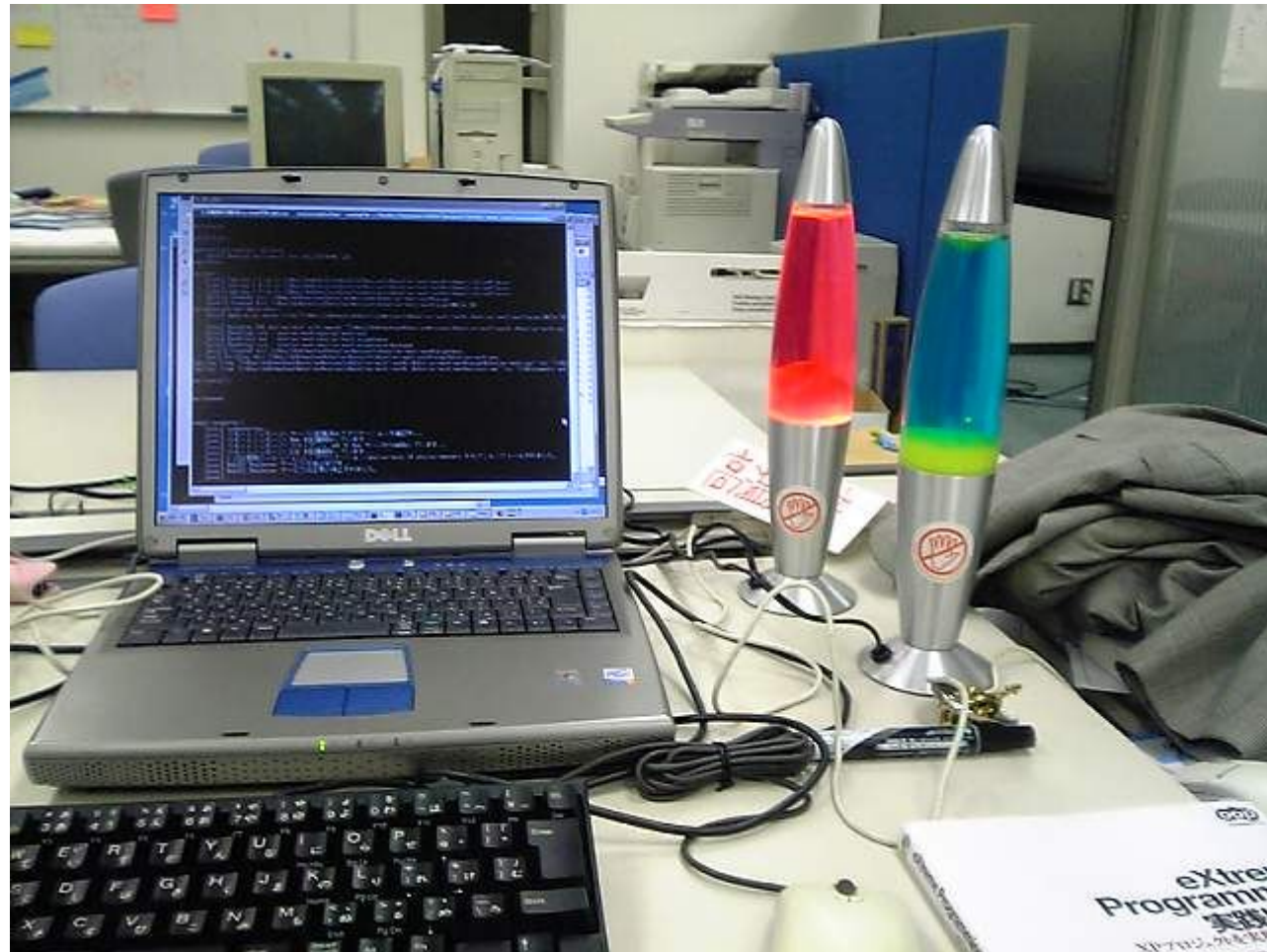


できました。

XFDの構成と実行環境



こんな感じ。



PlainOld XFDの製作費用

- PCと接続するためのUSB-IO
..... 1,500円
- 芦沢BlackBoxのパーツ代
..... 2,571円
- 赤と緑のLava Motion Lamp
..... 3,780円
- 過ちにすぐに気づける安心感
..... Priceless



...to be continued

Can you remain alive in spite of the AGILE?